

大規模災害時廃棄物対策北海道ブロック協議会
令和8年度エリア分科会
令和7年度各ワーキンググループの
検討結果

令和8年7月30日

- 仮置場ワーキンググループ
- 連携強化ワーキンググループ
- 計画策定・改定ワーキンググループ

仮置場ワーキンググループ

仮置場の設置・運営について自治体の立場から意見を出し合い、検討することで、仮置場での対応力を向上させることを目的として仮置場WGを実施した。

開催概要

実施回	内容
第1回 令和7年10月2日(木)	話題提供 仮置場の重要性について 等 意見交換① 仮置場候補地選定に係る課題と解決方法 意見交換② 仮置場の管理運営に係る課題と解決方法
第2回 令和7年12月19日(金)	話題提供 仮置場の重要性について 等 意見交換① 仮置場候補地の管理・運営に係る課題と解決方法 意見交換② 平時に自治体で実施できる災害対応力の向上の方策

資料(抜粋)

仮置場設置の重要性

近年我が国では、水害(土砂災害、洪水、浸水)や地震等の自然災害が頻繁に発生しており、それに伴う災害廃棄物の処理については、平時から検討を行うことの重要性が再認識されています。

【仮置場とは】

- 自然災害に伴い大量に発生する災害廃棄物を適正かつ迅速に処理処分するために、一時的に災害廃棄物を集めて保管する場所のことです。仮置場は市町村が設置し、管理していくものです。

【仮置場の重要性】

- 仮置場が用意できないと行き場のない災害廃棄物は、道路や空き地等に積み上げられ、道路をふさぎ、緊急車両や歩行者の通行をさまたげます。また、管理されていない空き地の災害廃棄物は、分別されないまま混合廃棄物の山となり、悪臭や害虫発生等の衛生面の問題、自然発火による火災発生といった安全面の危険などが生じてしまいます。さらに、その後、これら災害廃棄物を適正に処理していくとすると、より多くの時間、手間、費用が必要になってしまいます。

仮置場の管理運営

参考:仮置場の管理運営における優良取組事例(東日本大震災)

宮城県仙台市:簡易遮水シートの敷設

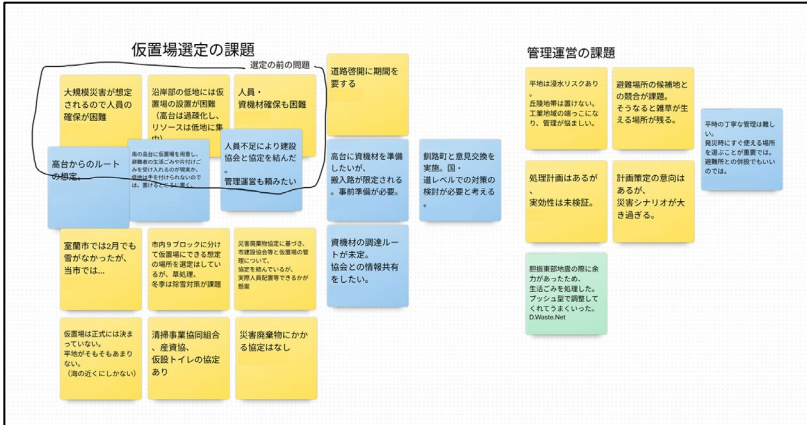
- 仮置場に10,000㎡の簡易な遮水シートを設置。
- 重機がシート上を進行しても破れないよう、50cm程度の土砂で覆土
- 災害廃棄物から汚水等が溢れないよう、周辺に50cm程度の疑似環境を設置

宮城県東松山市等:分別の徹底

- 石油ストーブや塗料類を徹底してほかのごみと分離
- 石油ストーブは燃料タンクと電池を取り出して保管

✓ 仮置場設置の重要性について解説

第1回WG意見交換結果(オンラインホワイトボード)



✓ 仮置場管理運営の好事例の紹介

- ✓ 平時に自治体で実施できる災害対応力の向上の方策について意見交換を行った。
- ✓ 訓練を踏まえて、必要な資機材の優先順位付け、職員向け訓練、広報、事業者との具体的な連携が重要だと意見が挙げられた。

課題対応の方策	
資機材の確保	- 資機材の確保は、単一市町村では限界があるので、広域での対応ができるとよいと思う。災害のないところから、災害のあったところへの支援が大事。 - 資機材の搬入ルート of 明確化。事業者との取り決めが大事。 - 資機材を持たない前提で回す運営手順の整理が必要。 - フェンスや看板、照明等が十分に揃わない状況を前提に最低限で区画を成立させる方法、優先的に必要な資機材の順位づけを整理し、簡易運営マニュアルを作成する。
衛生対策	仮置場合めて、被災地域の防疫対策としてペストコントロール協会との協定の締結を検討する。
分別	充電池対策については、市民への分別徹底の周知を平時から進めるとともに、発災時は仮置場の担当職員内でも意思統一を図ることが必要。
訓練	職員向けの防災訓練に、仮置場の設置訓練を盛り込む。 - 国や道で開催する研修等に積極的に参加。防災訓練などを活用し、組織や連絡体制の確認・強化。市民に対し、地域防災訓練や防災講座などを通じ、災害廃棄物の適正排出等の事前啓発をする。
広報	災害時のごみ分別手引きや仮置き場利用のお知らせチラシを作成するとよいのでは。
知見の共有・マニュアル化	これまでの被災市町村の対応状況を各市町村に共有する、基本的なマニュアル、参考資料があると良い。
事業者との連携	事業者との協定を具体的に進める。

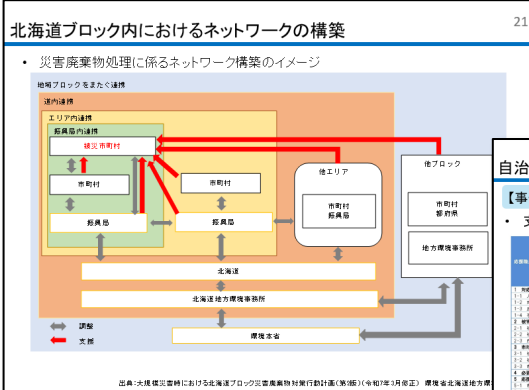
連携強化ワーキンググループ

災害廃棄物処理に係る連携について、自治体、一部事務組合、広域連合、民間事業者のそれぞれの立場から課題を抽出し、解決策を検討することで、道内外の災害廃棄物処理における連携強化を目的として連携強化WGを実施した。

開催概要

実施回	内容
第1回 令和7年9月30日(火)	話題提供 道内の実情と連携の必要性 意見交換① 関係者との連携に関する課題共有 意見交換② 円滑な連携に向けた平時からの取組
第2回 令和7年12月22日(月)	話題提供 支援-受援体制の構築について 意見交換① 支援が必要となるフェーズの整理 意見交換② 支援-受援体制の構築の検討

資料(抜粋)



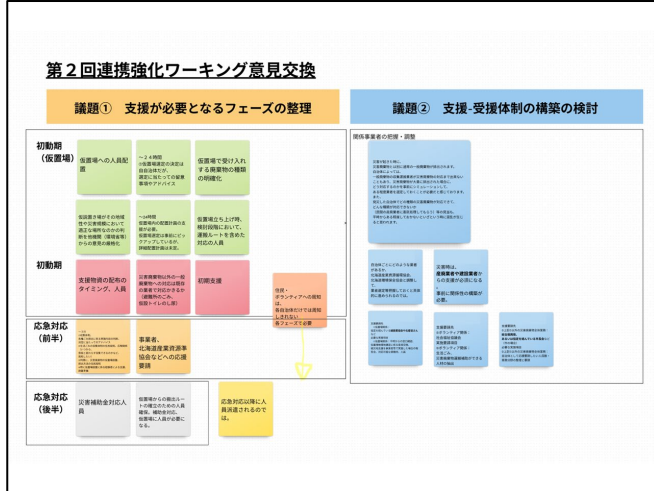
自治体間、自治体と民間事業者の連携

【事例】平成30年7月豪雨における中国・四国ブロックの取組

・ 支援業務の明確化 「してほしいことリスト」、「できることリスト」の作成

支援業務の明確化	してほしいことリスト	できることリスト
1. 被災地への物資・金銭的支援	○	○
2. 被災地への人的支援	○	○
3. 被災地への物的支援	○	○
4. 被災地への法的支援	○	○
5. 被災地への精神的支援	○	○
6. 被災地への社会的支援	○	○
7. 被災地への文化的支援	○	○
8. 被災地への環境的支援	○	○
9. 被災地への教育的支援	○	○
10. 被災地への健康的支援	○	○
11. 被災地への安全な支援	○	○
12. 被災地への安心な支援	○	○
13. 被災地への自立な支援	○	○
14. 被災地への持続的な支援	○	○
15. 被災地への包摂的な支援	○	○

第2回WG意見交換結果(オンラインホワイトボード)



✓ 災害廃棄物処理に係る連携について解説

✓ 災害対応の連携に関する好事例を紹介

✓ 災害のフェーズごとに必要な支援の抽出、支援-受援体制にかかる課題、必要なことを整理した。

連携強化ワーキンググループ

- ✓ 災害時の廃棄物処理に係る円滑な連携に向けた平時からの取組について意見交換を行った。
- ✓ 課題解決策となる平時からの取組として、情報共有手段、支援が必要なこと、支援できることの明確化、関係者間で顔の見える関係の構築、職員の訓練等が挙げられた。

円滑な連携に向けた平時からの取組	
防災部門との役割分担	・ 情報共有リスト、災害時にすることリストを作成し明確化する。
民間事業者との情報共有	・ 関係者が平時から対面で定期的に話し合い、関係を構築すると良いのでは。 ・ 平時より運搬事業者と協議の機会を設け、稼働率の把握、ルートを選定、広域連合への情報共有手段を調整する。
他自治体との情報共有	・ 平時より近隣市町村と協議の機会を設け、円滑な運搬について調整する。 ・ 被災リスクの大小がある市町村間で意見交換が必要では。 ・ 市町村から振興局への積極的な相談、振興局から市町村への声掛けも必要。 ・ 広域で顔合わせできる場があればノウハウのない市町村も検討が進みやすいのでは。 ・ 自治体職員の応援、仮置場への応援要員に対して、支援してほしいことを明確化する。 ・ 道、振興局の協定締結に関する情報が入れば具体的な話がしやすいのでは。
協定 など	・ 連携のメリットを学ぶと締結が進むのでは。 ・ 簡易的な災害ケースを想定して、かかわる自治体、民間事業者、振興局で訓練をしたら良いのでは。 ・ 机上訓練(図上演習)を実施し、必要事項を考えることが重要では。

災害廃棄物処理計画を策定・改定したい自治体を対象として、プッシュ型支援を行うことを目的として計画策定・改定WGを実施した。WGでは計画策定・改定に係る事項を説明するとともに、参加自治体の個別課題に関する相談、骨子案作成の支援を行った。

ワーキングメンバー

- ・ 災害廃棄物処理計画を策定したい自治体：4自治体
- ・ 災害廃棄物処理計画を改定したい自治体：2自治体

開催概要

実施回	主な内容
第1回 令和7年 9月26日	(1)災害廃棄物処理計画策定の目的 (2)事前アンケートの結果 (3)北海道版ワークシート(第3版)の紹介 (4)計画の発災時の利用方法
第2回 令和7年 10月20日	(1)被害想定の確認 (2)災害廃棄物処理計画の基礎的事項、組織体制、災害廃棄物発生量推計 (3)素案の作成について (4)演習：避難所ごみ、仮設トイレし尿処理量の推計
第3回 令和7年 11月17日	(1)水害における避難者数設定の考え方 (2)住民周知、処理可能量、処理フロー、収集運搬体制、仮置場 (3)演習：災害廃棄物量の推計 (4)演習：住民周知手法に関する意見交換
第4回 令和8年 1月26日	(1)必要となる仮置場面積の考え方 (2)環境対策・モニタリング、公費解体、処理困難物、計画の見直し (3)演習：計画策定後の運用準備に関する意見交換

説明事項

● 災害廃棄物処理計画に必要な内容の説明

- 被害想定のかえ方
- 基礎的事項
- 組織体制
- 処理スケジュール
- 災害廃棄物発生量等の推計
- 住民周知
- 処理可能量
- 処理フロー
- 収集運搬体制
- 仮置場
- 環境対策・モニタリング
- 公費解体
- 処理困難物
- 計画の見直し

演習

- 各自治体の対象とする災害に関する災害廃棄物発生量の推計演習
- 災害廃棄物量算定用のエクセルファイルの使い方
- 避難所ごみ発生量の推計
- 仮設トイレし尿発生量(収集必要量)、仮設トイレ基数の推計

避難所ごみ発生量・仮設トイレし尿発生量の推計

■仮設トイレし尿収集必要量

上水道支障率 (世帯) / (世帯) = (%) ...[A]
断水世帯数 総世帯数

断水による仮設トイレ必要人数

{ (人) - (人) × ((人) / (人))
水洗化人口 避難者数 水洗化人口 総人口

× (%) × 1/2 = (人) ...[B]
[A] ※小数点第2位を四捨五入、100%以上だった場合は、100%として計算してください。

仮設トイレ必要人数 (人) + (人) = (人) ...[C]
避難者数 断水による仮設トイレ必要人数